

清須学開講記念シンポジウム開催結果について（報告）

1 概要

(1) 目的・概要

- 清須学講座を開講するにあたり、その機運醸成を図るため、シンポジウムを開催。
- 第1部として、戦国時代史研究の第一人者である小和田哲男先生（静岡大学名誉教授）による基調講演を行った。
- 第2部として、内田俊宏先生（中京大学客員教授）の進行で小和田先生をアドバイザーに迎え、3名のパネリストの方々によるパネルディスカッションを行った。

【出演者】 (順不同・敬称略)

基調講演(第2部:アドバイザー)	小和田 哲男	静岡大学名誉教授
コーディネーター	内田 俊宏	中京大学客員教授
パネリスト	山田 功	中日信用金庫理事長
	加藤 富久	郷土史家
	原田 幹	愛知県教育委員会文化財保護室主査

(2) 周知活動

- 清須学事業の目的（シビックプライドの醸成とその牽引役の育成）に鑑み、市内を中心として周知を行った。
- 市外の方にも広く周知を図るべく、市外の城郭観光施設の他、博物館（資料館）、美術館及び図書館等の文教施設にも広く協力を依頼し、ポスター・チラシの配架を行った。
- マスメディア（中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、クローバーテレビ）へ情報配信を依頼した。

周知方法		[ポスター、チラシのデザイン]
<ul style="list-style-type: none"> ● 記者発表資料の配信 ● 市広報紙への折込チラシ ● 市ホームページでの周知 ● 市立小中学校への参加依頼 ● 市内名古屋鉄道駅構内でのポスター掲出 ● 市内公共施設でのポスター、チラシの配架 ● 市外観光（文教）施設でのポスター、チラシの配架 ● まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員所管団体でのポスター、チラシ掲出 ● 金融機関（地方創生連携協定）支店でのポスター、チラシ配架 	<p>5社 全戸 — 12校 5箇所 15箇所 11箇所 6団体 16店舗</p>	
マスメディア協力実績		
<ul style="list-style-type: none"> ● 中日新聞に開催記事掲載（8月31日朝刊） ● クローバーテレビによる当日取材 	<p>尾張版 —</p>	

(3) 開催結果

日 時	平成28年9月17日（土）午後1時30分から午後3時40分	
会 場	清須市春日公民館 大ホール（600席）	
来 場 者	500名	
取 材	<ul style="list-style-type: none"> ● 中京テレビ「キャッチ」取材班 ● クローバーテレビ（ケーブルテレビ） 	台風の影響で放送見送り 9月19日(月)放送

第1部：基調講演「物語としての清須城 ～時代を駆け抜けた城～」



第2部：パネルディスカッション「郷土の歴史と地域の誇り」



2 開催効果

- 清須学講座の受講申込みをシンポジウム開催に合わせて開始したところ、シンポジウム当日だけで40名近い申込みをいただいた。
- シンポジウムを契機として、その後も講座受講希望者が順調に伸びており、事業初年度としての機運醸成に十分な成果を挙げることができた。